

宇佐海軍航空隊

昭和14年(1939)10月1日、宇佐海軍航空隊は艦上攻撃機と艦上爆撃機の搭乗員を養成する練習航空隊として開隊しました。宇佐での訓練を終えた隊員は、実戦部隊へ送り出され、真珠湾攻撃等にも参加しました。米軍の空襲をうけるようになった昭和20(1945)年の太平洋戦争末期には特別攻撃隊の基地となり、多くの若者が南の空に飛び立っていきました。



現在地は、司令部庁舎や兵舎、格納庫などが建ち並ぶ航空隊の正門跡です。

所在地名は宇佐市大字江須賀字正門となっており、航空隊正門の名残があります。

宇佐空の郷は当時の庁舎をモチーフに建設され、敷地内には、正門門柱の復元モニュメントが設置されています。

周囲のコンクリート片は滑走路等から剥された実物を並べています。



施設情報

名称 宇佐市宇佐空の郷
所在地 宇佐市大字江須賀字正門 4035 番地の 2
電話番号 0978-58-3453

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 12月31日
※臨時に休館することがあります

入館料 無料
駐車場 大型車4台／普通車8台

問合せ

宇佐市教育委員会 社会教育課
☎0978-32-1111 (内線 3211・3212)
☎0978-27-8200 (直通)

戦争遺構めぐり
拠点施設

宇佐市
宇佐空の郷

うさくらのさと



宇佐市教育委員会



宇佐海軍航空隊開隊式



編隊飛行中の九七式艦上攻撃機



出撃直前の八幡護皇隊員



宇佐海軍航空隊への空襲



戦後の航空隊施設

施設概要



正門門柱の実物展示

施設内には、この場所にあった宇佐海軍航空隊正門門柱1基を展示しています。門柱は戦後大きな穴を掘って埋められていましたが、1992年（平成4年）に行われた土木工事の際に発見されました。

6次産品展示販売コーナー

市が推奨する「宇佐ブランド認証品」を展示しています。施設内で購入も可能です。

ガイド機能

宇佐海軍航空隊跡周辺に多くの戦争遺構が残存しています。実際に遺構を巡り、実物を目の当たりにすることで、戦争の歴史を感じることができます。ここでは代表的な遺構を紹介します。

・タブレットの貸出し

市内の戦争遺構や観光スポットのガイドアプリ「うさんぼナビ」が利用できるタブレットを貸し出しています。（有料）

「うさんぼナビ」は、ご自身のスマートフォン、タブレットでも利用ができます。（無料ダウンロード可、通信料は必要です。）

※貸出しには、運転免許証など身元を確認できるものが必要です。

・レンタル自転車

施設周辺の遺構めぐりに便利なレンタル自転車を貸し出します。（有料）



施設周辺の戦争遺構

落下傘整備所



正門跡より約200m
徒歩約5分
落下傘を整備したといわれるレンガ造りの建物です。外壁には機銃弾の痕が無数に残っています。

耐弾式コンクリート造建物

正門跡より約200m
徒歩約5分

受信所または配水所といわれているコンクリート造の建物で、防弾効果等を上げるため外壁の厚さが45cmと頑丈な構造になっています。



エンジン調整場



正門跡より約700m
徒歩約10分
飛行機のエンジンを分解して、整備を行っていたとされる建物です。エンジンを載せたと思われる台と点検記録用の部屋が残されています。

爆弾池

正門跡より約1,000m
徒歩約15分

昭和20年4月21日の空襲での爆弾痕に水が溜り池のようになっています。

